

第 55 回テーマ

「アイコンタクト」ができるように

夜型の生活が長いせいか、毎日ワールドカップをかかさず観戦している。日本が決勝トーナメントに進出し、俄然、盛り上がっている所だが、とにかく明るい話題が出てきて嬉しい。一ファンとしてもそうだが、もう少しだけ夢を見させて欲しい、そんな気がしてならない。

そのサッカーだが、最近では個人の能力ではなく「チームワーク」や「団結心」という言葉が世界のメディアから飛び出しているのには驚いた。歴史的には「個」の技術が美しいサッカーというのが南米、組織プレーはヨーロッパというのが主流であったが、それに「チームワーク」という言葉が加わっている。より戦略や戦術の重要性が上がり、経営にも同じような傾向が生まれているのではないかとふと考えてみた。

サッカーに「アイコンタクト」という言葉がある。目と目を合わせるだけで、次の行動を理解して連動して動く、というものだ。実際には「心を読み取る」というファンタジー的なものではない。ベースには、繰り返し行われている練習の中で積み上げられるものだが、プロのレベルになると本当に「心を読み取る」形で連動できるものだ、とされている。一瞬の「ひらめき」に合わせる事ができるというのは、日々の修練の賜物だろう。起業経営では、そのようなシーンはあまりないが、アイコンタクトのような「連動性」という部分は常に必要だ。試合時間は決まっていないので、時間の意識がスポーツとは異なるが、一つの共通認識を持って判断するスピードを上げていくという訓練は必要になるだろう。ハイスピードマネジメントのベースと言って良いと思う。

最終的には企業の「ゴール」が必要だ。ゴール前までボールを運ぶ人、シュートする人、様々だが、肝心のゴールに向かっていないという企業もあるからだ。さらにブレイクダウンし、細かい作業も見えない作業でも「ゴール」をキチンと設定する必要があるだろう。そこから自然に「アイコンタクト」ができるようになるはず。少し夜更かしをして、そんな思いでサッカーを見てみるのも面白いかも知れない。